

### 3 収集・保存

#### 1 収蔵作品数

開館準備をしていた平成6年度から令和2年度まで、ご遺族から9回にわたり鎌倉市に寄贈された。その他にも個人ご所蔵家から寄贈を受け、その内訳は以下の通りである。

寄 贈	登録部門							
	作品等	下絵等	挿絵等	スケッチ	遺愛品	書籍類	その他資料	計
開館時（～平成9年度）	87	260	1,472	284	293	5,615	688	8,699
追加収集（～平成18年度）	5	1	2	—	—	—	9	17
追加収集（～平成23年度）	9	4	4	—	—	45	513	575
追加収集（～平成28年度）	6	2	5	2	—	622	27	664
追加収集（～平成30年度）	10	2	—	—	—	3	27	42
追加収集（令和元年度）	新型コロナウイルス感染拡大により、鎌倉市美術工芸品等収集選定委員会の開催が中止となり、令和元年度の寄贈品はなし。							
追加収集（令和2年度）	45	29	12	25	31	—	697	839
計	162	298	1,495	311	324	6,285	1,961	10,836

作品等	下絵等	スケッチ	挿絵等	その他
162	298	311	1,495	8,570 (内 書籍 6,285 点)

収蔵品・資料総計	10,844 点
----------	----------

\*収蔵作品の詳細に関しては、『鎌木清方記念美術館 収蔵品図録』に掲載

#### 2 令和2年度追加収集作品

\*は「主な新収蔵品」に図版を掲載。

作品名	制作年	表装体裁	寸法 (cm)	寄贈者
金沢風景(仮題)		軸	119.5×22.9	根本章雄・信子・清雄氏
二子山	大正4年	軸	16.8×50.3	
五十鈴川*	昭和18年頃	軸	48.8×58.3	木内敦子氏
秋の花*	昭和3年頃	軸	37.8×45.4	

作品名	制作年	表装 体裁	寸法 (cm)	寄贈者
菊		軸	32.8×44.4	駒井久子氏
比伊奈*	昭和9年頃	軸	115.8×26.5	大越久雄氏
濡衣		扇面画	20.4×52.7	根本章雄・信子・ 清雄氏
紫陽花		ペラ	39.4×46.4	
自作築地川より詞書		台紙	30.2×59.0	
築地明石町 船・詞		ペラ	28.8×40.9	
童	昭和25年	ペラ	40.2×48.7	
張子の虎と犬とキンカン		ペラ	43.1×55.0	
雪兔		色紙	23.1×18.0	
白梅		短冊	36.2×7.0	根本章雄・信子・ 清雄氏
母子		短冊	36.2×6.0	
童		短冊	36.1×6.0	
絵日記	大正13年	画帖	24.0×16.8	
金泥地扇子		扇子	10.2×29.5	
扇子		扇子	10.2×31.3	
扇子 朝顔		扇子	10.3×32.5	
金地 扇子		扇子	10.2×27.0	
扇子 花		扇子	12.7×37.1	
扇子 桜		扇子	12.9×33.5	
扇子 筑波山		扇子	10.2×26.8	
門井掬水作／扇子		扇子	10.2×26.5	
寺島紫明作／扇子		扇子	10.2×31.5	
婚礼用描絵打掛(次女)		着物	172.5×125.6	
婚礼用描絵打掛(長女)		着物	169.3×128.2	
描絵留袖		着物	159.0×120.2	
描絵付け帯 露草		帯	161.0/85.1 × 30.0	
描絵帯地		帯地	39.0×90.5	

作品名	制作年	表装 体裁	寸法 (cm)	寄贈者
描繪着物(絹)		着物	143.4×123.6	根本章雄・信子・ 清雄氏
描繪ふくさ ぶりぶり	大正 4 年	袱紗	65.0×67.3	
描繪浪模様着物地		着物地	38.6×413.5	
伊東深水筆／描繪帯		帯	101.7×31.9	
山川秀峰筆／描繪帯		帯	181.8×31.9	
鎬木照作／端居		軸	142.4×56.0	
鎬木照作／雪姫		軸	28.2×49.5	
鎬木照作／さゝ蟹		軸	151.0×71.2	
鎬木照作／歌妓*	昭和 9 年	軸	99.8×56.0	
鎬木照作／枕獅子		軸	116.0×26.5	
寺島紫明作／美人(仮題)		色紙	27.0×24.1	
條野採掬作／採掬翁遺墨		卷子	19.2×207.4	根本章雄・信子・ 清雄氏
川崎小虎作／富士(仮題)		軸	33.0×31.5	木内敦子氏
川崎小虎・吉田秋光筆／描繪帯		帯	360.0×31.5	

## 主な新収蔵品



鎬木清方作《五十鈴川》

昭和 18 年(1943)頃 絹本着色・軸 48.8×58.3 cm



鎬木清方作《比伊奈》

昭和 9 年(1934)頃

絹本着色・軸 115.8×26.5 cm



鏑木清方作《秋の花》  
昭和3年(1928)頃 絹本着色・軸 37.8×45.4 cm



上左) 鏑木清方筆 婚礼用描絵打掛(次女)  
上右) 鏑木清方筆 婚礼用描絵打掛(長女)  
下左) 鏑木清方筆 描絵留袖  
下右) 鏑木照作《歌妓》昭和9年(1934)  
絹本着色・軸 99.8×56.0 cm

### 3 保存修復作品

作品名	修復前	修復後	依頼先
妓女像(下絵)	仮軸装	表装替え(紙表装→裂)、桐箱の製作	松岡表具店
柳の下に涼む娘	無反射ガラス	低反射アクリルへの交換	トップアート鎌倉
雑司ヶ谷会式	無反射ガラス	低反射アクリルへの交換	
自在額(大)用ガラス 1枚	無反射ガラス	低反射アクリルへの交換	
自在額保管用箱・黄袋製作 23点	—	新しいものへの交換	
額用マットの補修 5点	傷、破れ有	傷、破れ箇所の補修	
			計 32 点

### 4 貸出事業

#### 特別展「明治錦絵×大正新版画 世界が愛した近代の木版画」

会場: 神奈川県立歴史博物館

会期: 令和2年7月28日～10月2日

貸出作品名: 五月雨『今様 夏の巻』木版口絵、尾崎紅葉原著『金色夜叉絵巻』木版口絵、いで湯の夕べ『文藝倶楽部』木版口絵、伽羅『文藝倶楽部』木版口絵、ゆふ暮『文藝倶楽部』木版口絵、こすもす『文藝倶楽部』木版口絵

#### 企画展「あやしい絵展」

会場: 東京国立近代美術館

会期: 令和3年3月23日～5月16日

貸出作品名: 《深沙大王》、《金色夜叉の絵看板》、尾崎紅葉原著『金色夜叉絵巻』、尾崎紅葉・著『続編金色夜叉』口絵(校合摺)、尾崎紅葉・著『尾崎紅葉全集』(第6巻)

※ 新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言発令により4月25日より5月16日まで臨時休館

## 4 調査・研究

### 5 刊行図録

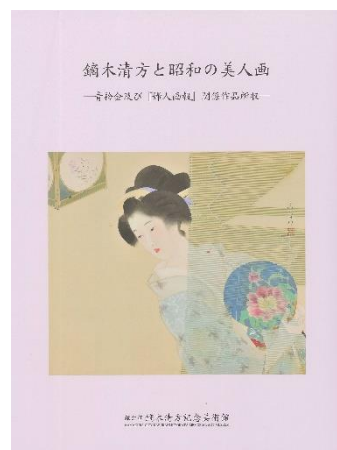
#### 叢書 22 「鏑木清方と昭和の美人画 —青衿会及び『婦人画報』関係作品所収—」

発行年月日 令和3年2月20日

##### 掲載内容

清方芸術の集大成ともいべき昭和期の美人画作品を中心に掲載し、同時期の弟子たちによる「青衿会」の活動と、『婦人画報』に掲載された清方の口絵や記事など関係資料と作品をまとめた。

- ・ 昭和の美人画
- ・ 『婦人画報』口絵／菊池幽芳著『お夏文代』木版口絵
- ・ 青衿会展出品作品
- ・ 青衿会関連資料
- ・ 『婦人画報』掲載鏑木清方執筆記事・談話／関連記事等
- ・ 『婦人画報』掲載鏑木清方挿絵とあらすじ
- ・ 鬼頭美奈子「構図から探る美人画の変容 —横画面に見る近代性—」
- ・ 今西彩子「昭和前期の清方と弟子たち —清方の《築地明石町》から《妓女像》までと、弟子たちへ及ぼした影響について—」
- ・ 特別寄稿 根本章雄「孫から見た忘れぬ思い出(二)」
- ・ 篠原聰「鏑木清方と青衿会の画家たち」
- ・ 『婦人画報』挿絵等目録
- ・ 昭和の美人画・青衿会関連事項及び美術記事目録



### 6 デジタルアーカイブ

令和3年(2021)3月に、デジタルアーカイブ「収蔵品データベース」に、収蔵する下絵の画像と情報、解説を公開した。( <http://www.kamakura-arts.or.jp/kaburaki/collection/> )

今回公開した下絵の点数は241点。